

福岡Rubyビジネス拠点推進会議

平成22年度総会

平成22年7月27日(火) 会場:ホテルニューオータニ博多



第1号議案

平成21年度事業報告(案)

平成21年度事業

1 企画・開発力向上

1-1 フクオカRuby大賞

1-2 新分野開拓研究開発支援

2 人材育成

2-1 Ruby技術者の育成

3 ビジネス拡大

3-1 東京プレゼンテーション

3-2 Rubyシリコンバレーミッション

4 拠点性発信

4-1 フクオカRubyフォーラム

4-2 ホームページの再構築

1-1 フクオカRuby大賞（その1）

○目的

Rubyを活用したソフトウェア開発企業のビジネス促進、世界に向けた福岡の拠点性発信、併せて世界へのRuby普及促進を目的に、Rubyによる優れた取組みを表彰する。

○審査対象

Rubyで開発したシステム、Rubyを活用した新しいビジネスモデルの構築、Rubyの普及に関する取組み

○賞体系

フクオカRuby大賞：1件、優秀賞：4件、奨励賞：3件、クラウド特別賞2件

○審査体制

審査委員長：Ruby開発者 まつもとゆきひろ 氏

審査委員：

福岡Rubyビジネス拠点推進会議会長 西岡 雅敏 氏

Rubyビジネス・コモンズ会長 最首 英裕 氏

野村総合研究所 金融システム事業本部長 齊藤 春海 氏

日経ソフトウェア編集長 田島 篤 氏

九州工業大学情報工学部准教授 田中 和明 氏

東京大学情報理工学系研究科講師 笹田 耕一 氏

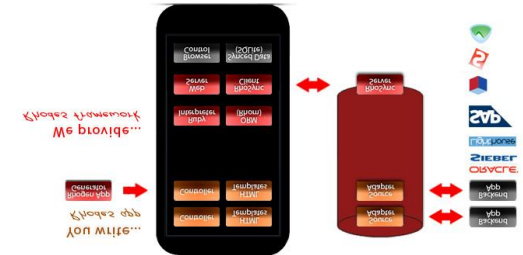
審査の様子



1-1 フクオカRuby大賞(その2)

○募集期間 平成21年9月1日～12月7日

○応募数: 64件(国内46件、海外7ヶ国18件)
(アメリカ、カナダ、イギリス、スペイン、オランダ、フィンランド、オーストラリア)



※大賞作品

○選考結果

大賞

「Rhodes - a Ruby-based framework for developing native smartphone apps」 Rhomobile, Inc.(ローモバイル)(アメリカ)
【iPhone, Android, Black Berry, Windows Mobile, Symbianなどスマートフォン向けアプリケーションを開発するツール「Rhodes」の開発。
OSを気にすることなくアプリケーションを開発することができる。】

優秀賞

「三菱商事株式会社 Notes DB移行を目的としてWebアプリケーション基盤をOSS技術 -RoR-を活用して構築」(株)アイ・ティ・フロンティア(東京)
「SKIP」 TIS(株)(東京)
「EasyPack for Google Apps」 (株)アイキューブシステムズ(福岡県大野城市)
「Children's Ruby Project～近未来に世界最先端のIT先進国 日本を担う次世代の人財をRubyで育てる」 (株)まちづくり三鷹(東京)

奨励賞

「EC-RIDER」 (株)イーシー・ワン 九州事業部(福岡市)
「Roodle」 正興ITソリューション(株)(福岡市)
「DICOMini」 正晃テック(株)(福岡市)

クラウド特別賞

「Framing the Business Case for Rails: The ARC Model」 Pivotal Labs, Inc.(ピボタルラボ) (アメリカ)
「オープンソースクラウドコントローラ“Wakame”(ワカメ)」 (株)あくしゅ(東京)

1-2 新分野開拓研究開発支援

Rubyの実用性を検証し、新たな分野やこれまでにない革新的なシステムにRubyを活用するための研究開発プロジェクトを支援
(県のRubyビジネス雇用創出支援事業として実施)

(Rubyビジネス雇用創出支援事業)

- ふるさと雇用再生特別基金を活用し、県からNPO法人高度IT人材アカデミー(AIP)に事業実施を委託。
- 19社21件の開発を支援
 - ・心臓外科手術の症例、患者の術後経過等の情報管理システム
 - ・eラーニングのコンテンツ作成・管理、ユーザ管理等をブラウザ上でできるシステム
 - ・自治体向けワンストップ型総合窓口システム 等

2-1 Ruby技術者人材育成

県内企業のRubyビジネス開発の基盤となる技術者を育成

NPO法人高度IT人材アカデミー(AIP)において、下記講座を実施。延べ135名が参加。

- Ruby入門講座(1日間)
 - ・Rubyの特徴、文法等Rubyの初歩を学ぶ
 - ・実施日(計2回実施) 平成21年12月14日、平成22年3月2日
- Ruby開発者養成講座(18日間)
 - ・Rubyの優位性を発揮する 開発支援ツールRuby on Railsを使ったアプリケーションの開発技術等、Rubyの開発を行う上で必要な知識を学ぶ
 - ・実施日(計7回実施)
 - 平成21年6月4日～29日、7月16日～8月11日
 - 8月26日～9月18日、10月8日～11月4日、11月16日～12月10日
 - 平成22年1月21日～2月16日、3月4日～3月30日

3-1 東京プレゼンテーションの実施

先進的にRubyに取り組む企業、研究機関や、今後Rubyに取り組むことで事業拡大を図る企業間で技術・ビジネス情報を交換することにより、今後の活動のヒントや、共同開発等の提携機会を得ることを目的に、ビジネスの可能性、課題などを議論。

- ① 実施日：平成21年11月30日
- ② 参加企業：34社 65名（県内24名、県外41名）
- ③ 場 所：秋葉原UDX（東京都）
- ④ 内 容：
 - 次の3分科会に分かれて、ビジネスの可能性、課題を議論
 - ・Rubyによる先端ビジネス
 - ・組込分野におけるRubyの活用
 - ・Rubyによる教育ビジネス
 - 各分科会の議論結果について、全体会で共有

分科会
の様子



全体会
の様子

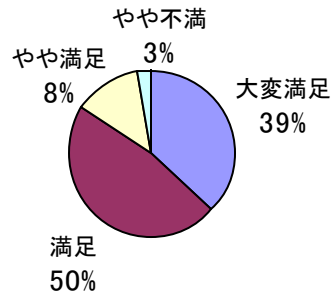


3-1 東京プレゼンテーションの実施

【実施結果】

- 参加企業からは、リーディング企業と交流できて有意義だった等、約9割の企業が満足。
- 東京プレゼンテーションをきっかけに、共同研究や、企業交流に発展。
- 一方で、BtoC、BtoBで技術の使い方が違うため、もっと多くの企業がバランスよく来て欲しい。ITベンチャーに投資を行っている投資家との意見交換があればもっと有意義になる等、参加企業の拡大を望む意見もあった。

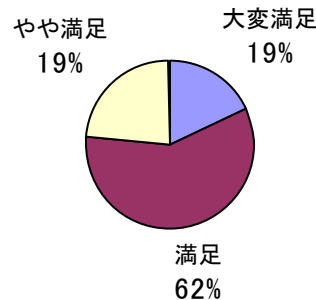
全体の満足度



満足度に関する主な意見:

- ・第一回目としては非常に良い。今後の具体化について、知恵を絞る必要あり。
- ・最新情報や各社のベストプラクティスの共有の場ということでも非常に意義深い試みだったのではないかと思います。

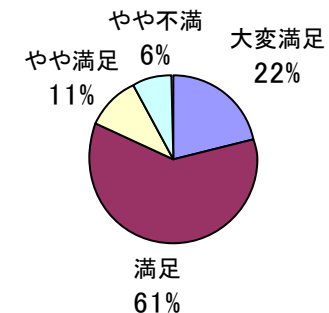
議論の内容



議論の内容に関する主な意見:

- ・Rubyのみならずその周辺技術の情報や、他社の悩んでいることなどを共有できたことは大変有意義でした。
- ・今後は福岡側だけでも協業機会を増やすような機会設置を望みます。

テーマごとに議論する手法



テーマ分けについての主な意見

- ・幅広い分野での利用と教育が進んでいることを再認識した。
- ・ブースを開く展示会の形式ではなく、グループセッション形式にしたのは、現時点ではある意味正解だったと感じた。

3-2 Rubyシリコンバレーミッション

Rubyに先進的に取り組む企業が集積し、本県同様Rubyを使ったベンチャーが台頭し始めたアメリカのシリコンバレーに Rubyミッション団を派遣。

- ①実施日:平成21年11月15日～21日
- ②参加者:推進会議会員企業、顧問企業など25名
- ③内容
 - ・Google、Engine Yard、Pivotal Labs、Rhomobileなど9社訪問
 - ・現地Ruby技術者コミュニティとの意見交換会
- ④成果
 - ・米国企業とF-Rubyとの間で、互いの取組を紹介し、ビジネスや技術などの情報交換を行う関係を構築
 - ・参加企業と米国企業との業務提携が成立
 - ・米国国際弁護士事務所と推進会議会員企業が国際展開する際にアドバイスを受けられるよう関係を構築

企業との商談
の様子



企業説明
の様子



4-1 フクオカRubyフォーラム

世界におけるRubyビジネスの動向を紹介し、福岡における取組みを世界に向けて発信するフォーラムを開催。

- ・参加者数 国内外から約250名
- ・基調講演 『誰にでも、どんな時でも、チャンスがある』
ークラウドコンピューティングの実例と可能性ー
(株)セールスフォース・ドットコム 代表取締役社長 宇陀 栄次 氏
- ・特別講演 『Rubyが拓く未来』
(株)ネットワーク応用通信研究所 フェロー まつもと ゆきひろ 氏
- ・プレゼンテーション
Ruby大賞受賞者及び優秀賞受賞者(4組)によるプレゼンテーション

特別講演
の様子



表彰
の様子



4-2 F-Rubyホームページの再構築

Rubyを活用して、福岡Rubyビジネス拠点推進会議のホームページを機能強化。(県事業として実施)

- ◆ 緊急雇用創出事業を活用して、F-Rubyホームページ及び福岡コンテンツ産業振興会議ホームページを再構築
- ◆ 主な新機能
 - ・福岡を「世界最先進・最大のRubyビジネス拠点」としてアピールするため、多言語化対応。(日本語、英語、中国語、韓国語)
 - ・海外からの応募数の増加や海外企業とのビジネス提携等の拡大を図るため、フクオカRuby大賞応募専用のサイトを構築。
 - ・会員の新品等の企業情報や商談会等開催情報を会員自らが発信でき、また会員間でサイト上での活発な情報交換等ができる機能を整備。

第2号議案

平成21年度決算(案)

平成21年度決算(案)

1 収入の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
負担金	7,298,000	7,298,000	0	福岡県負担金
雑収入	1,000	1,041	41	利子
計	7,299,000	7,299,041	41	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	865,000	681,273	△183,727	総会・理事会開催経費
事業費	5,712,000	5,596,572	△115,428	第2回フクオカRuby大賞 フクオカRubyフォーラム2010 Ruby東京プレゼンテーション Rubyシリコンバレーミッション Rubyビジネス最前線
事務費	722,000	315,083	△406,917	事務局経費(通信費、消耗品費等)
計	7,299,000	6,592,928	△706,072	

収入 7,299,041円－支出 6,592,928円＝706,113円を次年度に繰り越します。

監査結果報告書

平成21年度決算について関係帳簿を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成22年6月17日

福岡 Ruby ビジネス拠点推進会議監事

北九州市 産業経済局 新産業振興部長

下向 則好 (印)

監査結果報告書

平成21年度決算について関係帳簿を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成22年6月10日

福岡 Ruby ビジネス拠点推進会議監事

福岡中経済振興局産業政策部長
猪上 照明





第3号議案

平成22年度 事業計画(案)

平成22年度事業(案)

1 研究開発支援

1-1 次世代Rubyの研究開発

1-2 新分野開拓研究開発支援

2 人材育成

2-1 Rubyビジネス応用セミナー

2-2 Ruby技術者育成講座

3 ビジネスの拡大・創出

3-1 Ruby東京プレゼンテーション

3-2 Rubyシリコンバレーミッション

3-3 フクオカRuby大賞

4 最先端情報発信

4-1 フクオカRubyフォーラム

5 福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センターの活用(仮称)

5-1 センターを中核とした事業の実施

5-2 開発支援体制の確立

1-1 次世代Rubyの研究開発

新たに国の競争的資金等を積極的に活用し、革新的なビジネス創出につながる、次世代Rubyの研究開発をすすめる。

22年度実施プロジェクト: 軽量Rubyを用いた組込プラットフォームの研究・開発

- ◆ 経済産業省 「地域イノベーション創出研究開発事業」採択
- ◆ 予算額 1億4000万円(平成22年度～23年度)
- ◆ 研究体制

まつもと ゆきひろ氏、福岡CSK、九州工業大学、東芝情報システム、福岡県

- ◆ 研究内容

家電等の組込ソフトの開発に特化したプログラミング言語「軽量Ruby」と電子基板「Rubyチップ」を開発し、世界に展開するための研究を行う。これにより、組込分野の生産革新と、競争力強化を図る。

1-2 新分野開拓研究開発支援

Rubyの実用性を検証し、新たな分野やこれまでにない革新的なシステムにRubyを活用するための研究開発プロジェクトについて引き続き支援する。
(県のRubyビジネス雇用創出支援事業として実施)

(Rubyビジネス雇用創出支援事業)

- ◆ ふるさと雇用再生特別基金を活用し、県からNPO法人高度IT人材アカデミー(AIP)に事業実施を委託。
- ◆ 22年度予算額: 33百万円
- ◆ 3件の開発を支援
 - ・教材から人材までをトータルに管理するシステム。
 - ・企業が排出するCO2をWebで算出管理するエコシステム。
 - ・企業内の情報共有を行う営業支援システム。

2-1 Rubyビジネス応用セミナー

業界の最前線でビジネスを展開する企業から講師を招聘し、生産性が高いRubyの特徴を活かした新製品開発やビジネスモデルの創出に向け、企画から開発までを行える人材を育成する。

* 経済産業省 平成22年度広域的産業立地・人材養成等支援事業の支援を受け、(財)福岡県産業・科学技術振興財団において実施

開催時期 : 平成22年9月より毎月開催

開催場所 : 福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター(仮称)等で実施

内容:

- ・Rubyのリーディング企業の技術者やビジネスマネージャーを講師として招聘し、県内企業の企画・提案から開発技術力の向上を図るセミナーを開催。
- ・Rubyに関する幅広い知識や人脈を持つ専門家(コーディネーター)を配置し、コーディネーターが最新の技術・ビジネスをふまえたカリキュラムを策定することで、受講者のニーズを的確につかんだセミナーとする。

2-2 Ruby技術者育成講座

これまで行ってきた、Rubyの基礎教育に、応用力養成コースを加え、ビジネス開発の基盤となる人材育成を実施する。

<基礎教育>

- ◆ Ruby入門コース: Ruby言語の文法など基礎習得
- ◆ Ruby on Rails マスターコース:
Rubyの優位性を発揮する 開発支援ツールRuby on Railsの習得
- ◆ JRubyマスターコース:
主流言語Javaと組み合わせた応用開発手法について習得
※Ruby入門コースからJRubyマスターコースまで計10回実施予定
(各コース定員25名 計250名)

<応用力養成>

- ◆ Ruby応用力養成コース: Rubyの技術を実ビジネスに活用するための講座
※ Ruby応用力養成コースは年2回実施予定
(コース定員25名 計50名)

3-1 Ruby東京プレゼンテーションの実施

昨年度開催した、ビジネス創出に向けた、アイデアの収集、企業連携を促すためのディスカッションイベントを発展させ、テーマごとの個別商談会や、企業・大学等の共同研究開発に向けたビジネスマッチングイベントを開催する。

- ◆ 実施時期：平成22年11月（予定）及び3月
- ◆ 場 所：東京都内及び福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター（仮称）
- ◆ 実施規模：県内企業20社、顧問及び東京のユーザ企業30社
- ◆ 内 容：
 - ・会員企業のRuby開発システム、ビジネスプランの発表
 - ・個別商談会
 - ・交流会

3-2 Rubyシリコンバレーミッションの実施

Rubyに先進的に取り組む企業が集積するシリコンバレーにRubyミッション団を派遣。昨年度実施で形成した米国とのネットワークを活用し、米国のソフトウェア開発企業・ユーザ企業と、推進会議会員企業とのビジネスマッチングを行う。

* 経済産業省 地域産業集積海外展開支援事業の支援を受け、(財)福岡県産業・科学技術振興財団において実施

- ◆ 実施時期:平成22年10月(予定)
- ◆ 参加者:顧問企業、会員企業20名程度
- ◆ 内容:
 - ・推進会議の取組み紹介、会員企業の開発実績紹介
 - ・参加会員企業の開発事例プレゼンテーション
 - ・商談会、交流会

3-3 フクオカRuby大賞の開催

Rubyを活用したソフトウェア開発企業のビジネス促進、世界に向けた福岡の拠点性発信、併せて世界へのRuby普及促進を目的に、Rubyによる優れた取組みを表彰する。今回は募集期間の延長、Rubyコミュニティとの連携を図ることで周知の強化を図る。

◆ スケジュール(予定)

募集期間:平成22年8月～10月

表彰式:平成23年2月

◆ 対象

- ・Rubyで開発したシステム
- ・Rubyを活用した新しいビジネスモデルの構築
- ・Rubyの普及に関する取組み

◆ 賞体系(予定)

フクオカRuby大賞:1件、優秀賞:3件、奨励賞:3件

4-1 フクオカRubyフォーラムの開催

国内外のRubyの開発者や企業が一堂に会し、Rubyビジネスの最新動向やRuby開発事例等を発表することで、福岡の先進的な取組みを世界に向けて発信する。

- ◆ 時 期:平成23年2月予定
- ◆ 場 所:福岡市内
- ◆ 内 容 :
 - ・基調講演(世界におけるRubyビジネスの最新動向)
 - ・ビジネステーマ別セッション講演

5-1 センターを中核とした事業の実施

福岡県では、産学官で「人材育成」「ベンチャー支援」「ビジネス機会の拡大」「企業誘致」「交流連携」などに総合的に取り組む中核施設として、「福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター（仮称）」を開設する。（経済産業省「地域企業立地促進等共用施設整備費補助事業」）
このセンターを最大限活用して、Ruby産業振興のための取組をさらに強化する。

[施設概要]

整備主体：(財)福岡県産業・科学技術振興財団

場 所：福岡県東総合庁舎 4階・5階
(福岡市博多区博多駅東1丁目)

延床面積：1,926㎡(583坪)

主な機能：レンタルオフィス(12室)、セミナールーム(1室)、
プレゼンテーションルーム(1室)、会議室(5室)、
研究室(4室)、録音スタジオ(1室) 等

開設時期：平成22年秋頃



福岡県福岡東総合庁舎

5-2 開発支援体制の確立

福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター(仮称)に、自社製品開発を支援するRuby開発サーバを構築することで、県内企業のRubyへの取り組みを加速させる。

(概要)

◆開発サーバ

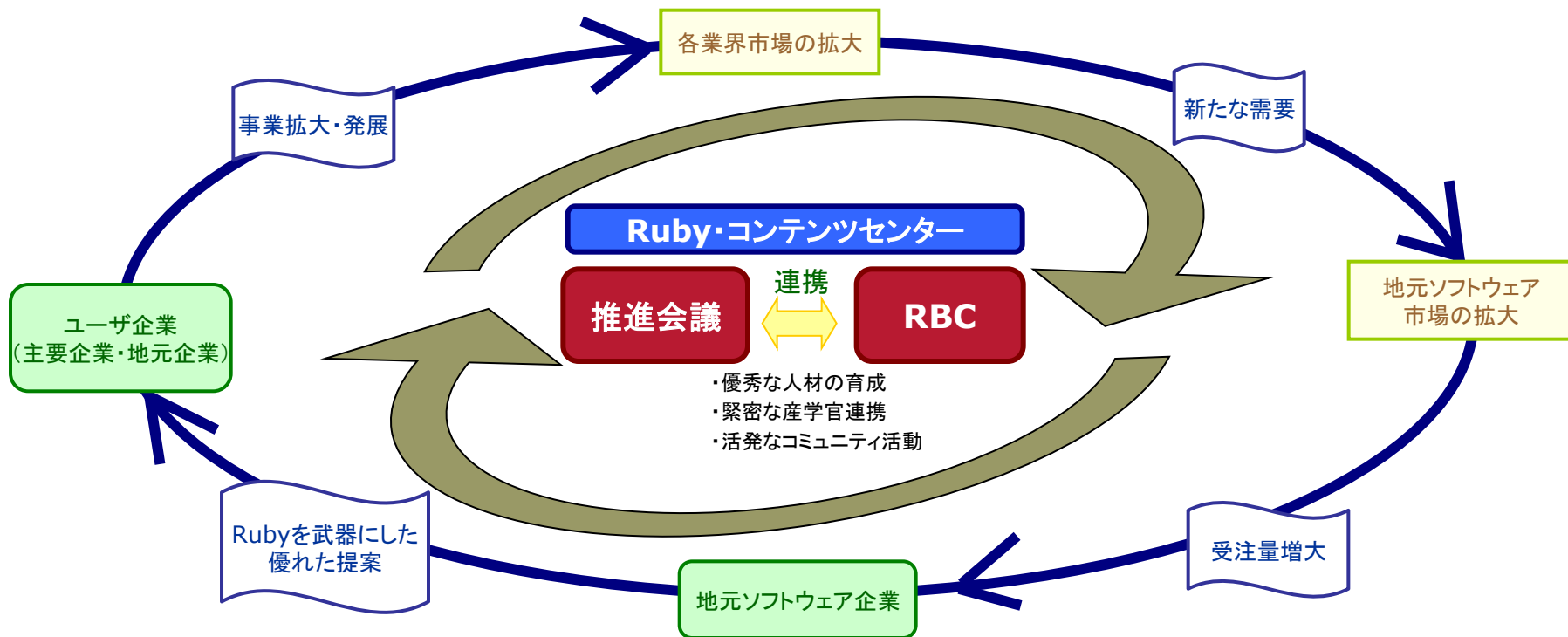
クラウドコンピューティング技術を活用した会員向け開発サーバを整備。

◆支援体制

開発サーバの利用・運営、技術的サポートについてはRubyビジネス・コモンズの協力を得る予定。

※推進会議が目指すもの

目標:世界最先進・最大のルビービジネス拠点の構築



地元ソフトウェア企業の発展 = (地元経済の活性化)

第4号議案

平成22年度予算(案)

平成22年度予算(案)

(単位:円)

1 収入の部

項目	前年度	今年度	増減	摘要
負担金	7,298,000	4,989,000	△2,309,000	福岡県負担金
雑収入	1,000	1,000	0	利子
繰越金等	0	706,113	706,113	前年度繰越金
計	7,299,000	5,696,113	△1,602,887	

2 支出の部

項目	前年度	今年度	増減	摘要
会議費	865,000	750,000	△115,000	総会・理事会開催経費
事業費	5,712,000	4,650,000	△1,062,000	フクオカRuby大賞 フクオカRubyフォーラム Ruby東京プレゼンテーション
事務費	722,000	296,113	△425,887	事務局経費(通信費等)
計	7,299,000	5,696,113	△1,602,887	

※上記のほか、下記事業について国及び県の予算を措置

- ・福岡Ruby・コンテンツビジネス人材養成等事業(経済産業省「広域的産業立地・人材養成等支援事業」) … 7百万円
- ・Rubyシリコンバレーミッション(経済産業省「地域産業集積海外展開支援事業」) … 2百万円
- ・次世代Rubyの研究開発(経済産業省「地域イノベーション創出研究開発事業」(22年～23年度の2カ年)) … 140百万円
- ・新分野開拓研究開発支援(県緊急雇用対策事業活用) … 33百万円



第5号議案

役員を選任について

役員を選任(案)について

名誉会長 福岡県知事 麻生 渡

会 長 正興ITソリューション(株)

代表取締役社長

有江 勝利

副 会 長 NPO法人Rubyビジネス・commons
学校法人 麻生塾

会 長
副理事長

最首 英裕
古野 金廣

理 事 グローバルブレインズ(株)
(株)ハウインターナショナル
(株)ヌーラボ
ブルーオーシャンシステムズ(株)
(株)Fusic
(株)富士通九州システムズ
九州日本電気ソフトウェア(株)
(株)キューデンインフォコム
(株)福岡CSK
(社)福岡県情報サービス産業協会
NPO法人 高度IT人材アカデミー
国立大学法人 九州大学
国立大学法人 九州工業大学

代表取締役社長
代表取締役社長
代表取締役社長
代表取締役社長
代表取締役社長
事業推進本部 主席部長
ソリューション基盤事業部 シニアマネージャー
常務取締役
代表取締役社長
企画調査委員長
事務局長
システム情報科学研究所 特任准教授
情報工学部 准教授

森 俊英
正田 英樹
橋本 正徳
中村 昌一郎
納富 貞嘉
芳賀 元
馬場 伸一
田嶋 正彦
河村 忠博
上野 末吉
岡部 浩太郎
田頭 茂明
田中 和明

監 事 北九州市産業経済局新産業振興部長
福岡市経済振興局産業政策部長

下向 則好
猪上 照明